

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料

保 健

教科用図書南那珂採択地区協議会

- Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
 〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の進め方や学習の課題が明記され、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「資料」や「スキル」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。
4 大日本	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「つかもう」「考えよう・話し合おう・調べよう」「活かそう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと知りたい」や「ミニちしき」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。
50 大修館	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「課題をつかもう」「考えよう・話し合おう・調べよう・やってみよう」「生かそう・伝えよう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと学びを広げよう！深めよう！」や「体育の窓」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。
207 文教社	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「Mission（学習内容）」「Stage（学習活動）」「もう一歩先の自分へ」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「Episode」「もっと知っとう課」「もっと考えよう課」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。

208 光 文	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「見つけよう」「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」「生かそう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「さらに広げよう深めよう」「科学のとびら」「この人に聞く」のコーナーなどを通し、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。
224 学 研	(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、課題解決の過程を「自ら取り組む活動」「対話的な活動」「活用」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。 (2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「かがくの目」や「つなぐ」、「ほけんのはこ」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1)「知識」を習得するために、一単位時間の中で、記述しながら学習を進め、学習した内容を振り返ったり確かめたりすることができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、軽い運動や呼吸法、簡単な手当ての方法を、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「調べる・解決する」において、考えを整理したり、当てはまるものを選んだりして記入する場面、「深める・伝える」において、自分の生活と関連付けて考えさせたり、人の意見を聞いて分かったことを書いたりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。
4 大日本	(1)「知識」を習得するために、学習内容をイラストや写真、図などを用いて分かりやすく示し、各時間に身に付けるべき知識を確かめることができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや写真等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「考えよう・話し合おう」において、イラスト等を活用し、考えたことを書いたり話し合ったりする場面、「調べよう・活かそう」において、学習し理解したことを、毎日の生活に活かせるように考えをまとめる場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。
50 大修館	(1)「知識」を習得するために、一単位時間や各章の終わりの中で、学習した内容を振り返り、自分の生活に活かそうとすることができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画、朱書き等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「課題をつかもう」において、生活経験や資料から課題を見付ける場面、「話し合おう・調べよう・考えよう・やってみよう」において、イラストやキャラクターの吹き出し等を活用し、話し合ったり書いたりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。

207 文教社	(1)「知識」を習得するために、各ページで理解すべき内容を学級担任や養護教諭の発言という形で示すことで、児童が自分の生活の中で活かすことができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当ての方法を、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「Mission」「Stage」において、資料等から課題を見付ける場面、イラスト等で課題解決に向けた方法が示されたり、調べたり話し合ったりする場面、「もう一歩先の自分へ」において、自分が分かったことを書く場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。
208 光 文	(1)「知識」を習得するために、まとめ文に★をつけて、おさえるべき内容を明確に表し、一単位時間に学習した内容を短い文章で書いて振り返ることができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動やいくつかの呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」において、自分の考えを書いたり友達と話し合ったりする場面、「生かそう」において、学んだことをこれからの自分の生活にどう活かしたいかを考える場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。
224 学 研	(1)「知識」を習得するために、一単位時間や各章の終わりの中で、学習した内容を振り返り、自分の生活に活かそうとすることができるような工夫が見られる。 (2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画、クイズ形式で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。 (3)「自ら取り組む活動」において、生活経験や資料から課題を見付ける場面、「対話的な活動」において、イラストによる説明や吹き出しなどを活用し、調べたことや課題を解決するための方法を話し合う場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 一単位時間4ページ、4ステップの構成で、写真や記述欄が大きく掲載され、主体的に思考しやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、導入では写真等を基にして本時の課題を見付ける活動を設定することで、児童が自ら本時の課題をもつことができるような工夫がなされている。
4 大日本	(1) 一単位時間2ページの構成で、思考の流れが矢印で示され、段階的に思考しやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、イラストを用いたり、ゲーム的な活動を取り入れたりすることで、課題意識を高め、身近な問題として思考を深めることができるような工夫がなされている。
50 大修館	(1) 各章の導入で著名人とキャラクターとの対話を取り上げることで、学習の見通しをつかみやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、他者と考えを交流する活動を位置付けることで、対話を通して、考えを広げることができるような工夫がなされている。
207 文教社	(1) 児童の思考の流れを意識した学習課題が設定されているなど、段階的に学びを深めやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、学習の終盤では自分の生活について考える機会を設定することで、児童が日常生活で実践しようとする思いをもつことができるような工夫がなされている。
208 光 文	(1) 各章の導入で学習内容にかかわる4コマ漫画を掲載していることで、学習の見通しをつかみやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、発展的な資料を豊富に掲載することで、児童が自分の興味・関心に応じてさらに学習を深めることができるような工夫がなされている。
224 学 研	(1) 学習内容やキャリア教育との関連を明記することで、他学年や他教科とのつながりを意識できるつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、科学的な資料等を多く掲載することで、児童が学んだことを広げたり深めたりすることができるような工夫がなされている。

4 地域の願いや思い、児童の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、児童の確実な基礎・基本の定着という観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習のまとめで、「まとめ・生かす」の欄を設け、自分の考えを表現したり、生かす方法を考えたりして、思考力や判断力、表現力を育成していこうという工夫が見られる。また、「スキル」のコーナーを設け、思考や判断の基準を分かりやすくまとめ、必要な技能を身に付けさせる工夫が見られる。 (2) 単元の終わりで、写真や絵を用いて資料提供を行うとともに、QRコードを使って、より専門的で詳しい情報が入手できるような工夫を行っている。
4 大日本	(1) 学習のまとめで、「明日へつなげよう」という欄を設け、学習したことを生かして、思考力・判断力を身に付ける工夫がみられる。また、「はってん」というコーナーを設け、学習した基礎・基本を今後の生活の中で生かしたり、実践につなげたりして役立つようにする工夫が見られる。 (2) 「もっと知りたい！」のコーナーで、グラフや図による解説を行うとともに、「楽しい保健ウェブ」で QR コードによる解説を取り入るような工夫を行っている。
50 大修館	(1) 学習のまとめで、これからの生活に生かしていこうと思うものを選択制で選び、思考・判断したことを実践に結びつける工夫が見られる。また、「まとめ」では、自分の感想や考えをまとめるだけでなく、他の人の意見を参考にする欄を設け、判断力や表現力を育成する工夫が見られる。 (2) 「もっと学びを広げよう！深めよう！」のコーナーで、多くの資料や例示を提供することで、家庭や地域における生活と比べたり、生かしたりできる工夫を行っている。
207 文教社	(1) 学習のまとめで、「もう一步先の自分へ」のコーナーを1単位時間ごとに設け、学習したことに対する思考力・判断力を高める工夫が見られる。また、これからの自分の課題を考え実践につなげるために「わたしの〇〇宣言」というコーナーを設けるなどの工夫が見られる。 (2) 「もっと考えよう課」のページで、学習をさらに深め、思考力・判断力を高めるために必要となる身近な資料を写真や図等で提供する工夫を行っている。

208 光 文	(1) 学習のまとめで、「学んだことを生かそう」の欄を設け、思考力・判断力を高めたり学んだ基礎・基本を生活に生かしたりする工夫が見られる。また、「学習のまとめ」では、学習内容の確認や学習の振り返りを設定し、学習の基礎・基本の定着を図る工夫が見られる。 (2) 単元と単元の間で、多くの絵や図、写真などを使って詳しく説明したり、QRコードを使って学習に関する詳しい資料を提供したりする工夫を行っている。
224 学 研	(1) 学習のまとめで、「ふり返る」「伝える」「つなぐ」の欄を設け、学習した内容について、思考・判断したことを他者へ伝える活動から、表現力を高める工夫が見られる。また、毎時間の振り返りが位置付けられ、QRコードを使い、振り返りをデータとして残すことができる工夫が見られる。 (2) 「ほけんのはこ」という特設のコーナーで、興味・関心を高める他、写真や絵、図を多く用いて、学習に関する詳しい資料を提供する工夫を行っている。